

浅草は、今日も世界中から来た観光客で大賑わいです。しかし、この街はかつて、震災や戦災、幾度もどん底の不景気に見舞われて、奇跡の復活を遂げた場所でもあります。文豪から文学愛好者まで、浅草に魅せられた人々が書き遺したことは、いつも復活劇の起爆剤でした。街と文学が響き合い、切り結ぶさまを、お見せします！

開催期間◆2018年9月1日(土)～10月6日(土)

開館時間▶午前9:30～午後4:30 (入館は午後4時まで)

(日・月および9月27日は休館日)

観覧料◆300円(200円)、中学・高校生100円 ()は団体20名様以上の料金

会場◆日本近代文学館▶東京都目黒区駒場4-3-55(駒場公園内)

主催◆浅草文芸ハンドブックの会、
アドバイザーおよび資料協力・西条昇、
協力・月刊「浅草」編集部

駒場
東大前

西口徒歩7分

池田井の頭線

渋谷

地下鉄銀座線

文豪発見!

誰?

チュッ

浅草

詳しくは
Webで!

画・原えつお

浅草文芸へ戻る場所

あの文豪たちと浅草の関係を知って、浅草をもっと楽しもう!

